

佐野博一氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

市民と市政の距離を縮めたいと思っております。今沢自治会長を務めた6年間に様々な世代の区民の皆様からご要望やご意見を頂きました。これは今沢地区だけの傾向ではなく、市内どの地域にもある共通の問題、悩みでもあると自治会長をしながら感じました。そこで自分が市議会議員になり今沢地区だけではなく、より多くの地域住民の声を反映させて、住みよいまちづくりを目指したく立候補に至りました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少の解決です。人口を増やす為には大企業や大学など教育関係の誘致など、沼津市の将来像を見据えた都市計画の構想、整備を要します。その実現の為には準備段階から専門のチームを作り、大きなプロジェクトとして働くべきでしょう。しかし、もっと身近に実際に地に足を着けて考え、今こそ如何にして流出を防ぐかを本気で考える必要があります。その詳細は質問3及び4を参考して下さい。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

まずは鉄道高架の早期実現です。南北道路の整備により渋滞が緩和され、人々の往来の増加にも繋がります。高架下には（商業施設、保育所、若者や高齢者の憩いの施設等の建設など）沼津再生の潜在能力が潜んでいます。ただ、ソフト面を充実しなければ、ただのハコモノになります。様々な世代の方々からの話を聞き入れ、高架下を活性化させる事が大事だと考えています。中心部の発展が市全体の発展だと思っております。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。移住・定住策で何か、お考えはありますか。

人口減少、少子化対策は国家レベルの非常に難しい問題です。まずは出産費用の補助、保育施設等の給食の無償化、不妊治療の補助、そして子供達が安心・安全に遊べる公園の整備が不可欠です。また沼津に新たな観光施設（例えば興国寺城跡地の整備や愛鷹山にハイキングコースの設置など）を新設し、まずは人が集まる街を目指すべきだと考えております。人誘致=企業誘致、大学誘致、そして移住、定住につながると思っています。